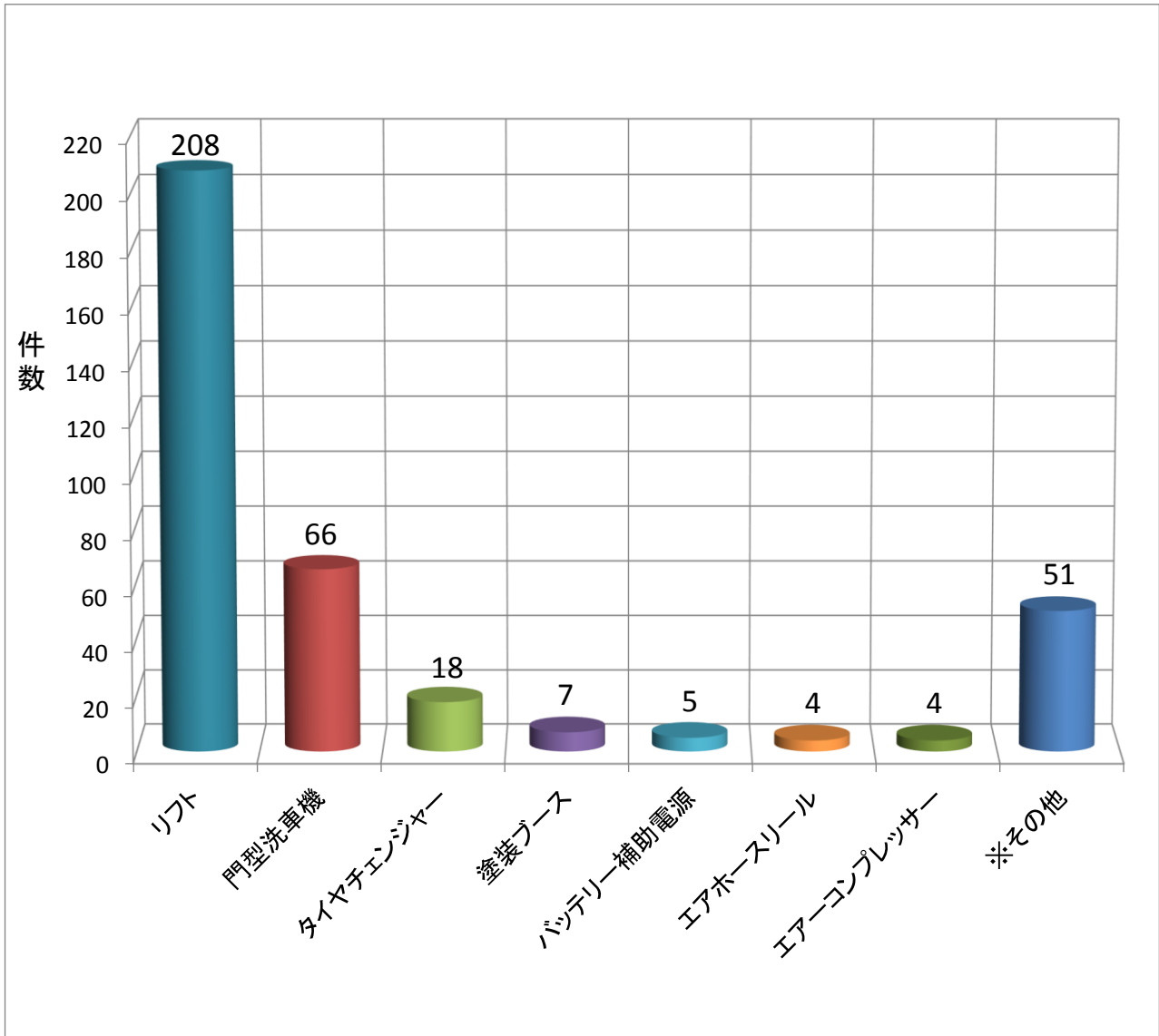


過去10年間(平成20年～29年)の事故統計

1. 整備機器別の事故件数



※その他の内訳

事故件数が3件の機器

ブレーキ・テスタ、ヘッドライトテスタ、油圧プレス、ガレージジャッキ、部品洗浄機

事故件数が2件の機器

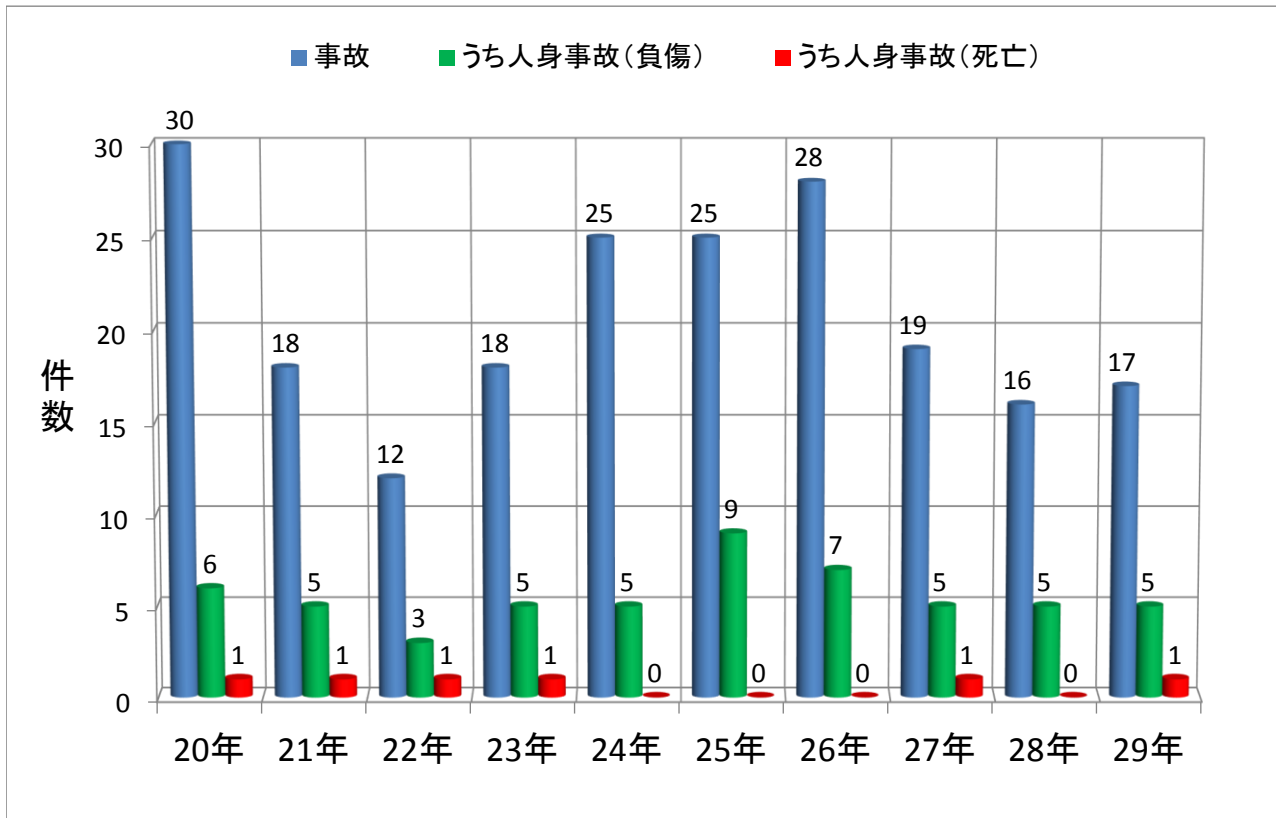
オイルチェンジャー、オールドレン、温水洗車機、回転吊下げ式ホイールドーリー、集塵機、赤外線乾燥機
マルチテスタ、溶接機、リジッドラック

事故件数が1件の機器

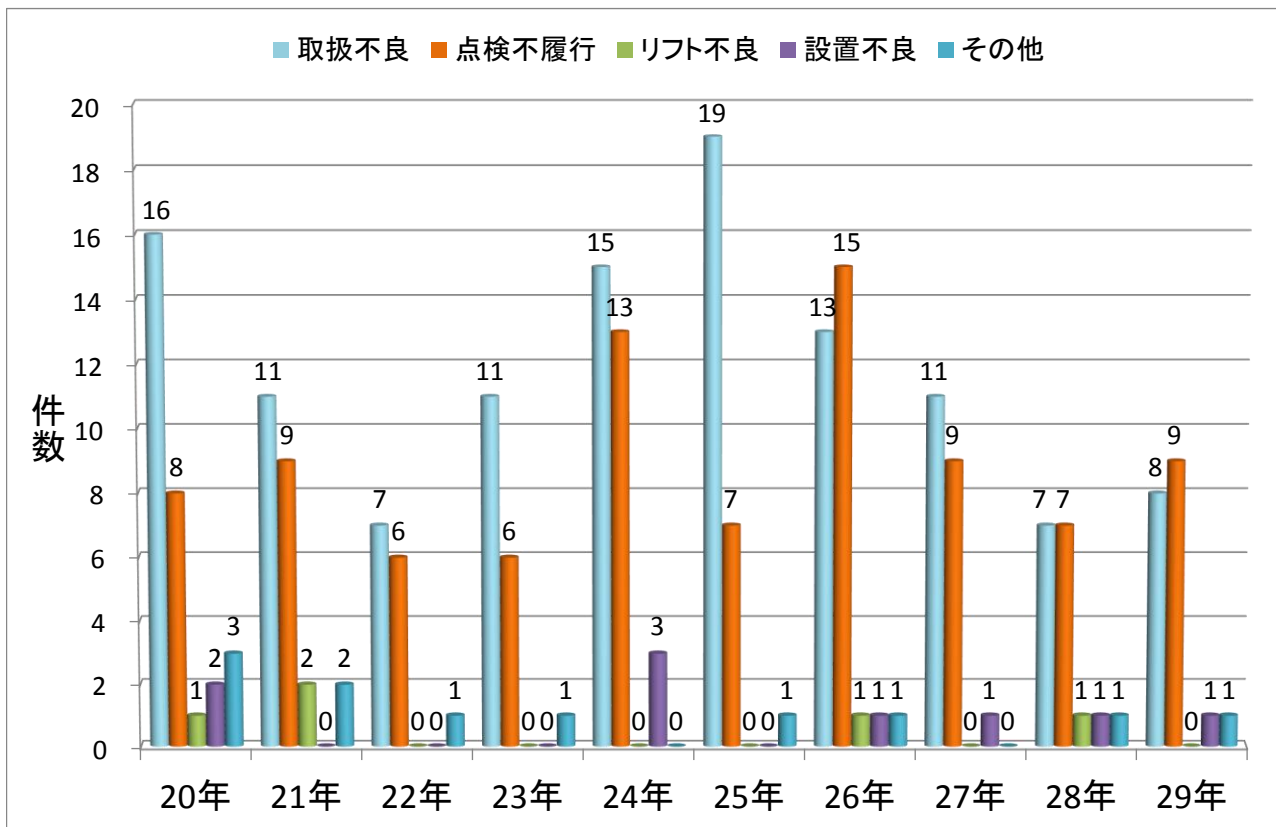
アライメントテスタ、エアーコイルホース、LED式投光器、オイルガン、速度計試験機、タイヤ安全囲い
卓上グラインダー、暖房機、吊下げ式乾燥ヒーター、トルクセッター用レッグカー、トルクレンチ、廃油ボイラー
バキュームクリナー、バッテリー充電器、ピットジャッキ、プラズマ切断機、フレームジャッキ
リフト用リモコンリール

2. リフトの事故

2-1. 事故件数及び人身事故件数の推移



2-2. 事故原因の推移



※1件の事故に複数の原因がある場合は、重複して計上しています。

2-3. リフト事故の傾向

リフトの事故は、他の整備機器の事故と比較して件数が多く発生しており、死亡事故など大きな事故に繋がるケースが見られます。事故原因としては、取扱不良と点検不履行によるものが多い状況にあります。

2-4. リフトの事故を防止するために

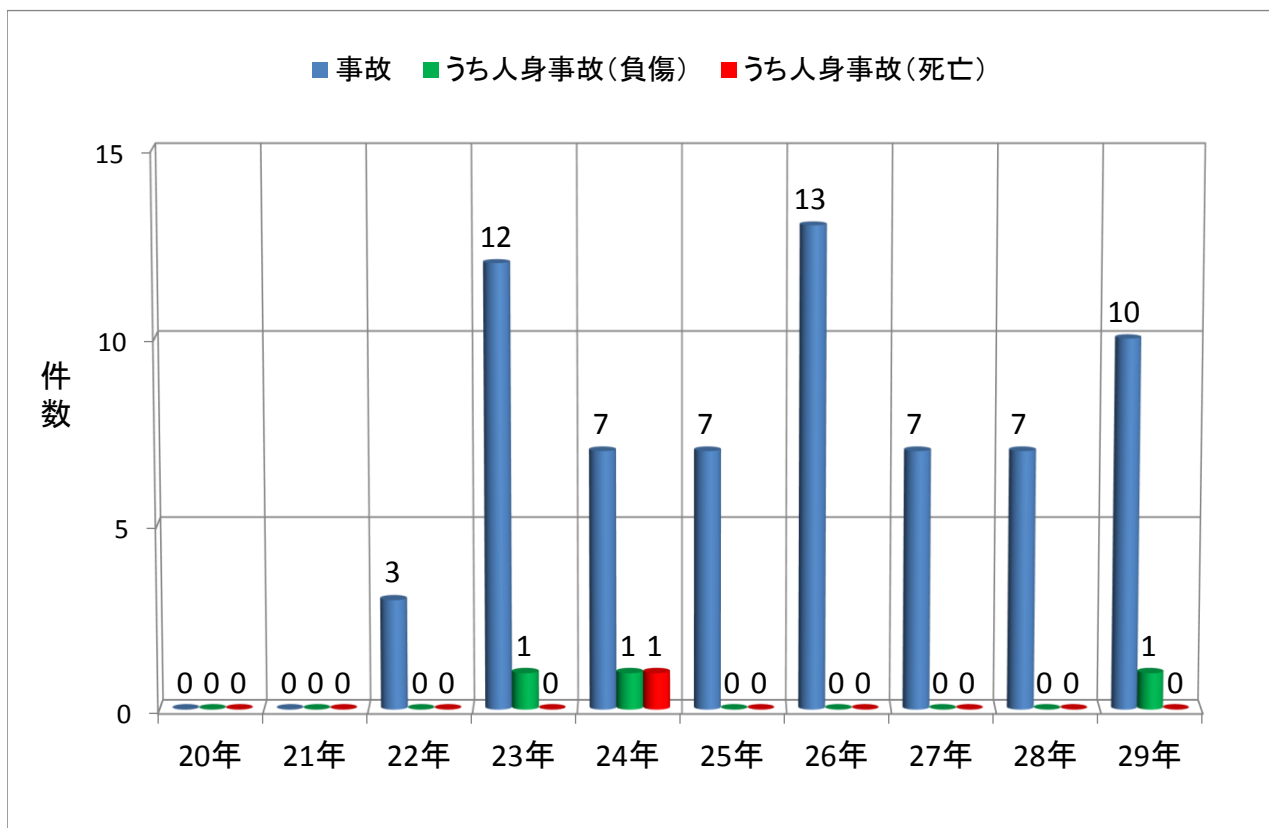
取扱不良と点検不履行による事故が多いことから、正しい使い方の啓発、リフトの日常点検及び点検資格者による定期点検と整備により事故防止対策を推進していく必要があります。

【参考】点検資格者による点検実施台数の推移



3. 門型洗車機の事故

3-1. 事故件数及び人身事故件数の推移

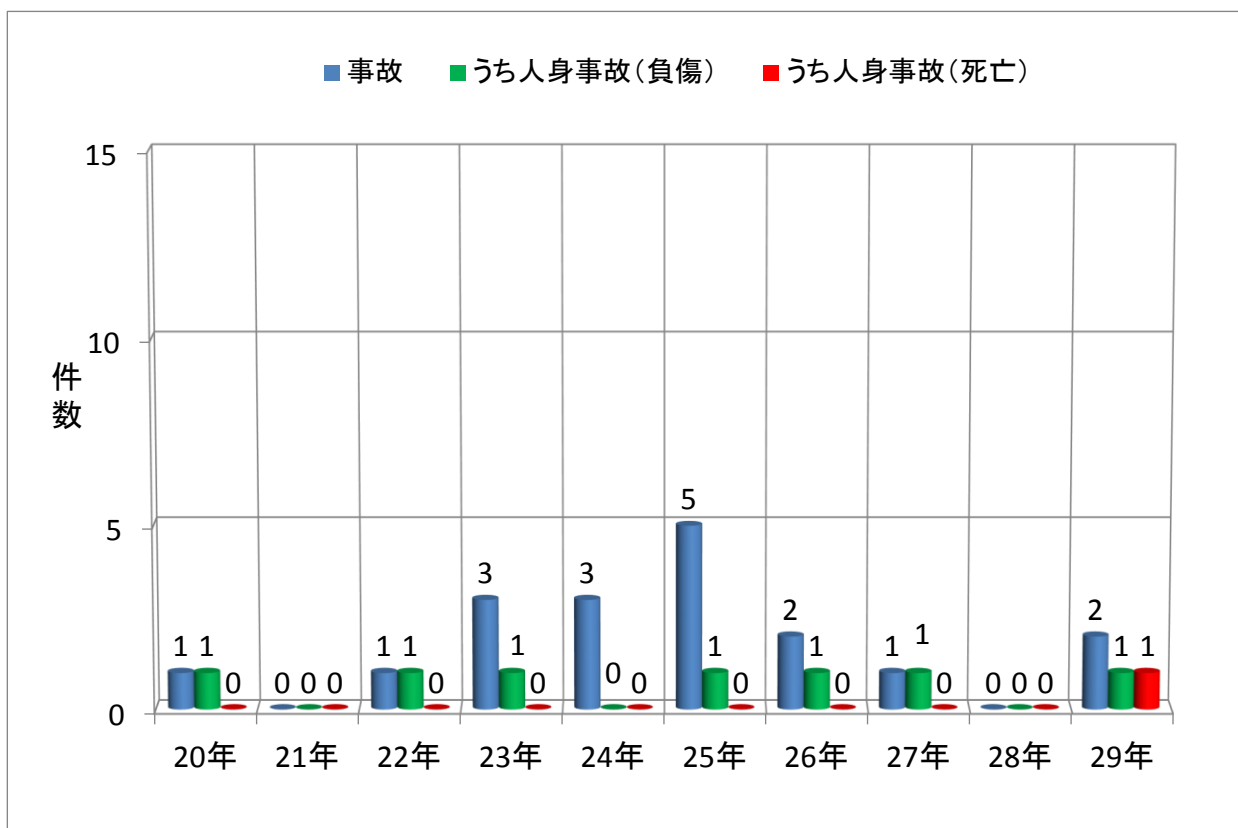


3-2. 門型洗車機の事故の傾向

門型洗車機を設置する整備工場が増えており、それに伴い事故件数も増加しています。事故原因としては、車種・形状等の選択ミスと点検不履行によるものが多く発生しています。

4. タイヤチェンジャー

4-1. 事故件数及び人身事故件数の推移

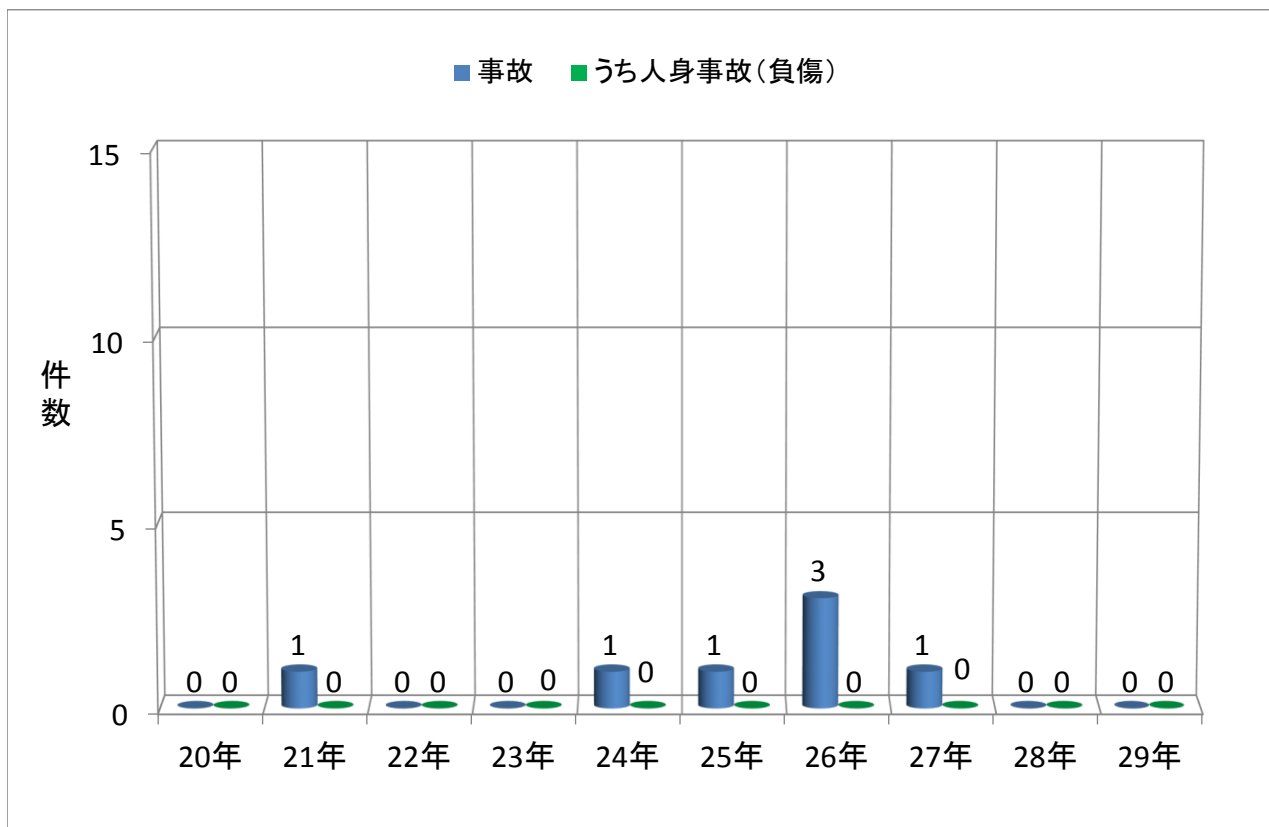


4-2. タイヤチェンジャーの事故の傾向

タイヤチェンジャーによる事故は、取り扱い方法の誤りによる事故が多く発生しており、29年には点検不履行による死亡事故が発生しています。

5. 塗装ブース

5-1. 事故件数及び人身事故件数の推移



5-2. 塗装ブースの事故の傾向

塗装ブースによる事故は、堆積したミストやフィルターへの引火による火災が多く発生しています。

6. その他の機器(ブレーキ・テスト)

28年、29年に連続してブレーキ・テストによる大きな事故が発生しています。テストに車両を載せ、ローラーを回転させながらブレーキ調整を行っていた際にローラーに巻き込まれており、1件は死亡事故に繋がっています。

7. 事故を防止するために

各機器とも、正しい使い方の啓発と点検により事故防止対策を推進していく必要があります。